

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社クボタ堺臨海工場 新排力	階数	地上3F
建設地	大阪府堺市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし。	平均居住人員	70人
地域区分		年間使用時間	3,675時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2017年8月8日
敷地面積	209,873 m ²	作成者	日建設計
建築面積	1,036 m ²	確認日	2017年9月1日
延床面積	2,443 m ²	確認者	小池 実



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>先端技術であるエンジン排ガス試験を行う施設として、求められる機能を十分に満足させる建屋とする。(エンジン定盤基礎、試験室、機器収納室、機械室、データ処理室等平面スペース、階高、積載荷重、防音性能、照度、空調性能等。)</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>現場事務所及びデータ処理室等居室空間の静粛さを確保するため、操作室～試験室間壁・窓・扉、2,3階床及び外壁サッシの防音性能を確保している。居室の光環境を良く保つため、外壁窓からの自然光と十分な照度の照明器</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>メンテナンス性を良くするため、階高を高くし(1~3F: 5.8、4.5、3.8m)、天井裏のダクト、配線スペースを充実させた。2階は全面機械室とし、外壁に搬出入用シャッターを設けた。居心地を良くするため、1・3Fに休憩室を</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>大型工場が集まった地域であり、敷地周辺に行った大規模な緑化と道路に植えた街路樹により街並みの調和を計る。建屋は敷地境界から離して建設し、周辺道路からほとんど</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>建物外皮の熱負荷抑制のため、屋根・外壁断熱材を設置するため、窓サッシにはペアガラスを採用した。照明は全てエネルギー消費の少ないLED照明器具にて計画を行った。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>ノンフロン断熱材の使用。リサイクル外装材(鋼製サイディング、アルミサッシ)及びリサイクル躯体材料(電炉鋼材)の使用。節水型大便器・小便器の利用。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>エンジン運転に伴う騒音、振動をエンジンに載せる定盤基礎を緩衝材によるエキスパンションで躯体から切り離し、防音性能のある壁で包まれた部屋に閉じ込めることにより、外部への伝搬を防止する。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	新排ガス試験棟	BEE	BEEランク	
	建設地	堺市西区築港新町3丁7、8-1、8-2、8-3	0.8		B-
	主用途/延床面積	事務所 / 2,442.50 m ²			

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●	● ●	
省エネ対策	3	● ● ● ● ●	● ●	
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●	● ●	
安全快適な暮らし	2	● ● ● ● ●	● ●	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.3	3
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	5.0	3	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				5.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				2.8
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			1.0	2
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			1.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	